

「勤め上げる」覚悟をもって



営業本部長
東久保 美紀

東久保さんのプロフィール

1988年 入社 販売 配属
1992年 主任 昇格
1993年 第一子出産(6ヶ月育児取得後職場復帰)
1997年 第二子出産(6ヶ月育児取得後職場復帰)
1999年 係長 昇格
第三子出産(6ヶ月育児取得後職場復帰)
2004年 第四子出産(6ヶ月育児取得後職場復帰)
2006年 販売課長 昇格
2012年 営業本部 部長 昇格
現在に至る

My Story

私はこの会社に就職する前、まずはアルバイトで3年間お世話になりました。そして、高校卒業後、そのままこの会社に就職しました。入社当時は販売部門に配属となり、その後、業務推進部門、再度販売部門を経て、現在営業本部で部長をしています。

入社4年目に主任に昇格し、翌年、第一子を出産しました。この会社で産休、育児休業取得第1号となりました。その後、3回の出産を経験し、4人の子供がいます。いずれの出産の際も、産休を取得し、育児休業を概ね6ヶ月取得した後、職場復帰しました。当時から育児休業は子が1歳になるまでの間取得することができましたが、6ヶ月で職場復帰することを選択したのは、子どもを母乳で育てたいと考えており、離乳食が始まるのが6ヶ月頃であることと、1歳になると子どもにも知恵がついてきてしまい、気持ち的に職場に戻りにくくなるということと、そして、6ヶ月以上仕事のブランクを空けたくないと感じていた、という3つの理由によります。

4人の子供もたちの子育てにおいては、家族に大変助けられました。私は夫の両親、祖母と同居していますが、当時、近所には0歳児を預かる公立の保育所は整備されていなかったため、第三子までは、3年保育の保育所に入園するまでの間、義理の両親に面倒を見てもらっていました。その後、第四子の時には、公立の保育所が整備され、1歳から保育所に預けることができました。また、子どもは小さい頃よく病気にかかります。そのような保育所に預かってもらえない時にも、家族は大きな支えとなりました。

長く働き続けることができた理由

何よりも、仕事が楽しかったことが一番の理由です。また、一生懸命やった分だけ認められるので、とてもやりがいを感じられます。さほど大きな会社ではないので、社長も近い環境にいます。このため、自分がやってきた成果が伝わりやすく、評価してもらえることが、何よりの励みになります。

管理職になってからは、大きな裁量を与えていただいています。責任感を感じるとともに、大きな仕事をやり遂げる、という充実感もあります。

一方、産休、育児休業を取得し、職場復帰するにあたっては、相応の覚悟を持っていました。この会社ですべて「勤め上げよう」と考えていたのです。もし中途半端に辞めてしまうくらいなら、産休や育児休業を取得せずに辞めよう、と思っていました。そして「勤め上げる」決意を持って今日に至っています。

Voice

私のワークスタイル

上司であり、仕事と育児を両立する上でも先輩である経営統括補佐の竹内のワークスタイルは、とても勉強になっています。

まず、働き方のスタンスとして、「どうせ働くのであれば、楽しく働く」というスタイルにはとても共感しており、私もそのようにしています。

また、家には一切仕事を持ち込まない、ということも同様です。さらに、残業は「悪」としています。仕事以外の時間をしっかり確保するため、決められた仕事の時間には一生懸命、目一杯働き、残業せずに終業時間とともに帰宅する、ということを徹底しています。これは私だけでなく、職場全体がそのような雰囲気になっています。

仕事、子育て、自分の生活の3つのバランスを大切に

仕事と家庭、生活を両立させるため、仕事と子育て、そして自分の生活の3つのバランスを取ることを心がけています。自分の生活の部分には、自分の楽しみをつくることも含まれています。このようにして、仕事も、家族の時間も、自分の時間も充実させることにより、生活

そのもののバランスをとるようにしています。

子どもとの時間や自分の時間を充実させるため、有給休暇を有効活用し、子どもの授業参観に行ったり、自分の用事に充てたりしています。また週2日の休みは、1日は子どものため、1日は自分のために使うようになっています。そして2日間をしっかりと休むため、残りの5日間はきっちりと段取りをして一生懸命働いています。

ワーク・ライフ・バランスが 実現できる職場



経営統括補佐
竹内 和子
総務課長
米田 哲也

つ能力によって評価されるようになってきているため、管理職を含め、男女問わず多くの女性が活躍しています。

仕事と育児、家庭が両立できる職場環境

当社は、社長も育児と仕事の両立の経験を有しており、育児と仕事の両立を考える従業員に対する理解があります。また、そもそも家庭を抱える女性従業員が多い職場であるため、残業せずに終業時間に皆帰るスタイルが定着しているため、育児中の従業員も働きやすい環境であると考えています。

産休・育児休業取得の第1号であり、最多取得者である東久保がワーク・ライフ・バランスをとりながら管理職として活躍している姿は、後進のロールモデルとなっており、皆の励みになっています。

個人の能力による評価

当社は地域の郷土料理である柿の葉寿司を製造・販売しております。かつて柿の葉寿司を作るのは地域の女性を中心となっていましたため、当社でも女性の担う部分が大きい会社です。また、社長も女性であり、個人の持

企業プロフィール

株式会社柿の葉すし本舗 たなか

- 設立：1973年
- 本社所在地：奈良県五條市
- 事業内容：柿の葉すし・五条楽・その他すしの製造・卸・販売
- 従業員数：222名(うち女性207名)